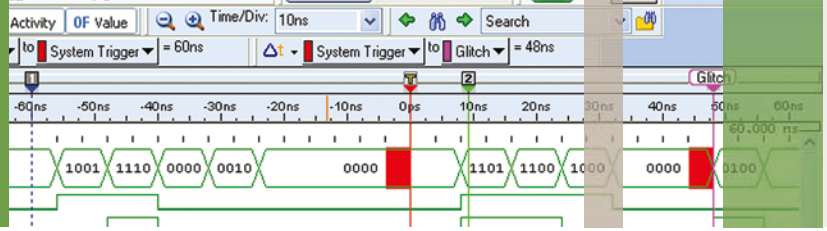
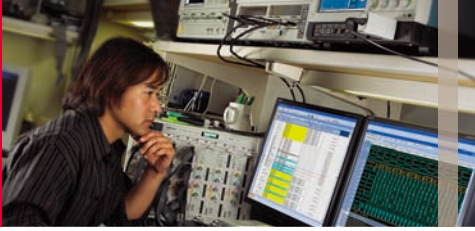


操作性、スループット、解析能力をさらに向上 デジタル・デバッグを加速する ロジック・アナライザの完成形



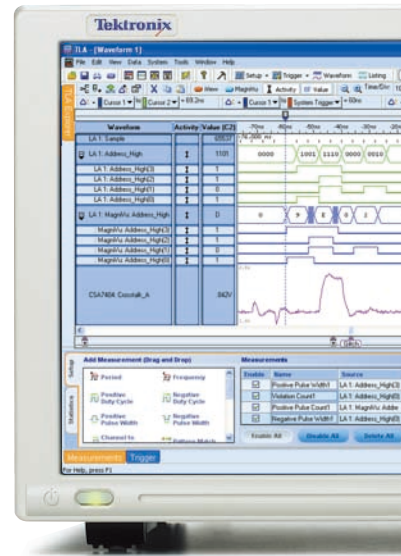


類を見ない高性能、さらに進化 すべてのエンジニアの要求に応

全チャンネル50GHzタイミング解析、1.4GHz/

高い性能に加え、高速処理能力、新ナビゲーション・システムによる操作性、大容量データを同時観測可能な大型ディスプレイ、そして柔軟な拡張性で迅速なデバッグを実現させる新世代ロジック・アナライザです。

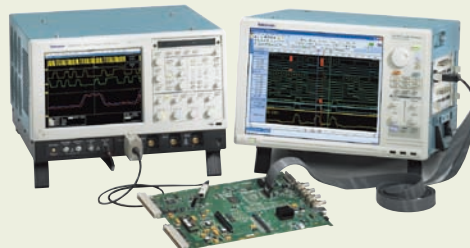
* 全チャンネル50GHzタイミング解析、1.4GHz/3Gbps同期解析は、TLA7Bxxシリーズ・ロジック・アナライザ・モジュールで実現できる性能です。TLA7Bxxシリーズに関する詳細はデータ・シートをご参照ください。



15型 (38cm) 大型ディスプレイ
TLA7012型ポータブル本体

先進の性能

- 最高50GHzMagniVuタイミング
- 最高1.4GHz/3Gbpsステート・レート
- 最高3GHzアナログiCapture (アナログMUX)
- 最大128Mbメモリ長



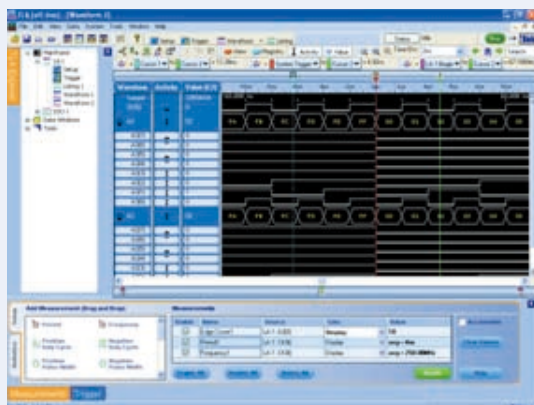
iViewを使ったTLA7000シリーズと
当社オシロスコープの接続例

充実した 各種アプリケーション対応

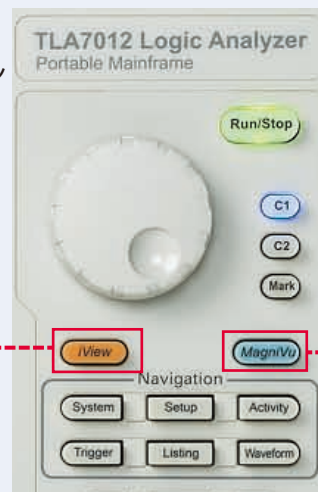
- DDR/2/3-DRAM
- PCI Express Rev.1.x/2.0/3.0
- FPGA
- パターン・ジェネレータ

新ナビゲーション・システムによる操作性

- エクスプローラ・タブ・ウィンドウで簡単ナビ
- 前面パネルまたはツール・バーですべてのウィンドウ画面に簡単切替え
- iView、MagniVu®表示もワンタッチ
- ドラッグ&ドロップによるトリガ設定
- ドラッグ&ドロップによる自動測定機能

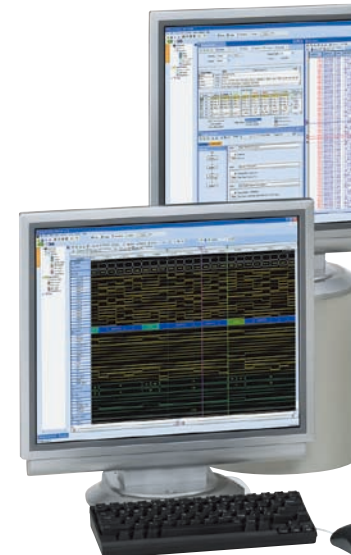


iViewボタン



MagniVu
ボタン

使いやすい前面パネル (TLA7012型)



TLA7016型ベンチトップ本体
最大6台のモジュールを内蔵できます

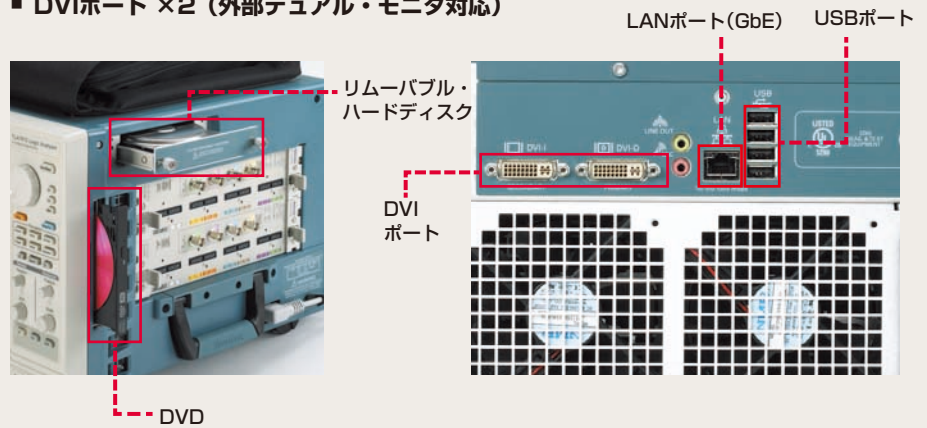
優れた操作性、柔軟な拡張性で、 究極ロジック・アナライザ

3Gbpsステート解析、3GHzアナログiCapture (アナログMUX)



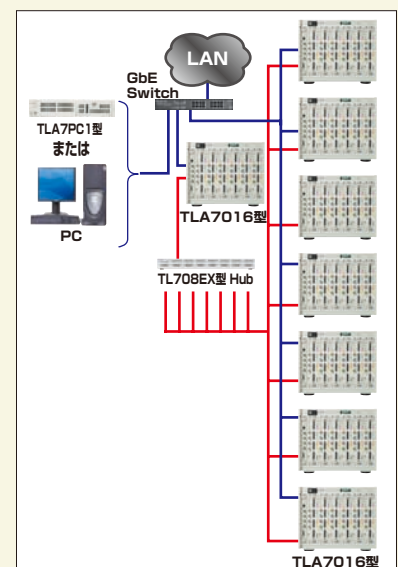
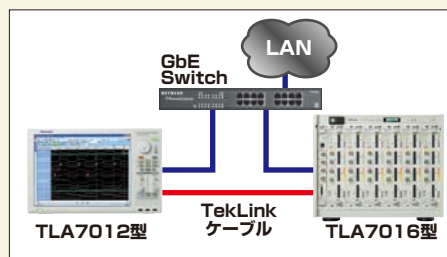
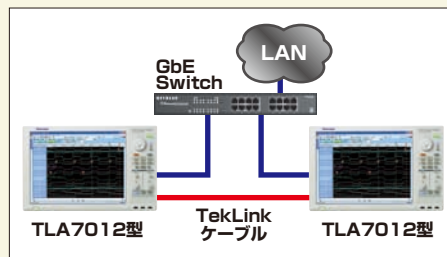
優れた接続性

- 4.7Gバイト DVD±R/RWドライブ
- ギガビット・イーサネット (LAN)
- USBポート×7 (前面: 3ポート、背面: 4ポート)
- DVIポート×2 (外部デュアル・モニタ対応)



柔軟な拡張性

- TekLinkでTLA7012型、TLA7016型を自由に8台まで拡張可能 (最高6,528チャンネル)

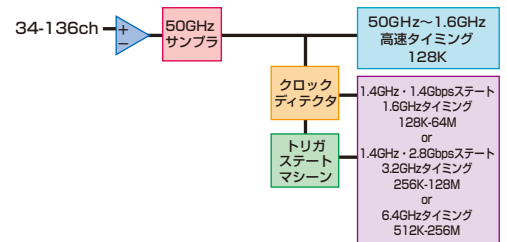


(ディスプレイは含まれていません。)

全チャンネル50GHzタイミング解析、最高1.4GHz/3Gb 究極の高性能ロジック・アナライザ

ピン・ポイントのタイミングを全チャンネル20ps分解能で解析 (MagniVu®アキュイジション)

MagniVuは、ロジック・アナライザ・フロントエンドに用意された高速サンブラにて全データを一度サンプリングし、外部クロック・モード（ステート解析）ではクロックの変化点にて、内部クロック・モードでは設定されたクロック・レートで間引き落とす方法です。高速サンブラでサンプリングされたデータを保持することで、設定を変更することなく、常にトリガ点付近に関する詳細なタイミングを捉えます。例えばメモリへのリード/ライトが正しくできないアドレスでトリガをかけ、MagniVuタイミングでセットアップ&ホールド時間を20ps分解能（50GHz）で解析できます。単に高速と低速のロジック・アナライザを組み合わせた方式と異なり、内部/外部クロックとMagniVuデータ間の時間的なずれが原理的に発生しません。



MagniVu®概略ブロック図

全体のタイミングを最高6.4GHzで解析（ディープ・タイミング）

ディープ・タイミングは最高6.4GHz/156.25ps分解能*。メモリ長は最高512Mビット/チャンネルの大容量*。メモリへのデータ書き込み方式として、データをサンプリングする都度メモリにそのまま書込むコンベンショナル方式のみならず、サンプルされたデータに変化があった時だけデータを格納し、時間分解能を下げることなく長時間にわたるデータ集録が可能なトランジショナル・ストア方式も備えています**。

*クォータ・チャンネル・モードにて

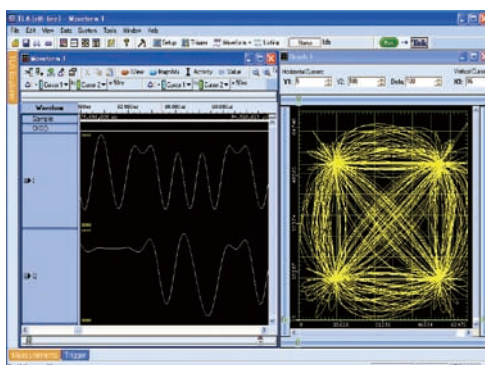
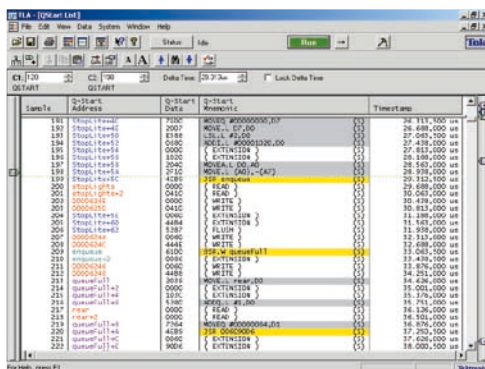
**フルチャンネル、800MHzモードにて

最高1.4GHz・3Gbpsステート解析

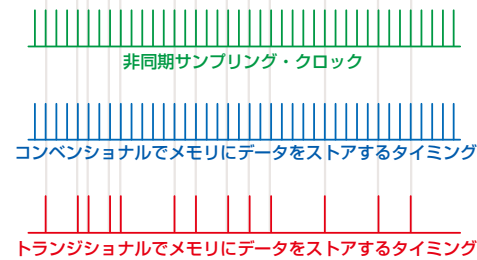
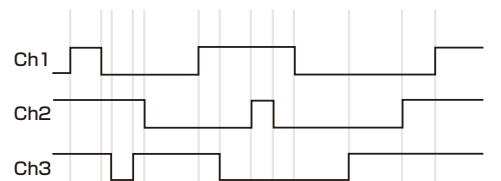
MagniVuによる20ps分解能タイミング解析とステート解析を同時に行うことができ、問題がソフトウェアやデータに起因するのかハードウェアに起因するのかの切分けに威力を発揮します。この場合、プローブの接続の変更や面倒な設定は一切不要です。

トランジショナル・ストア方式と ブロック・ストア・モード

メモリへのデータ書き込み方式として、従来からの取込方式で連続してデータを取込むコンベンショナル方式と、データが変化した時点でのデータを取込むトランジショナル・ストア方式を選択できます。後者ではバースト上に変化したり、部分的に変化したりするデータの記録でメモリを有効利用可能です。TLA7000シリーズでは、各々のデータが取込まれた時刻は51ビット・タイムスタンプで管理されます。また、特定の状態前後約63ポイントのみを記録するユニークなブロック・モードも用意されています。



リストビュー（上）、マグニチュード（下左）および
グラフビュー（下右）での表示例



トランジショナル・ストア方式の原理

ps同期解析、最大128Mビット／チャンネル大容量メモリ

*オプション。標準では全チャンネルにてSDR、DDRともども750MHz/1.5Gbps

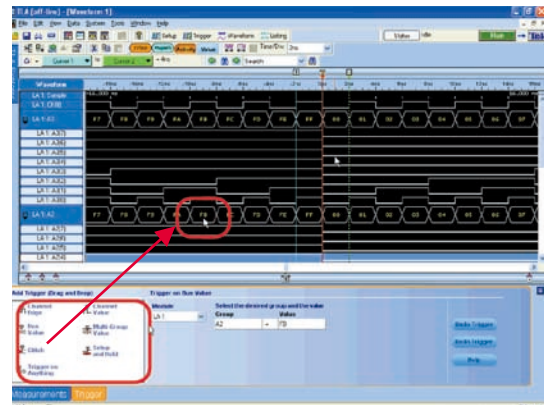
グリッチ・トリガ／ストア／サーチ、 セットアップ&ホールド時間違反検出

全チャンネル、グリッチ・トリガや、125psの分解能でセットアップ&ホールド時間違反トリガを実現。違反でトリガをかけ、各信号の詳細なタイミングをMagniVuで確認できます。



ドラッグ&ドロップ・トリガ

トリガ条件を簡単に設定できるよう、ドラッグ&ドロップの簡単操作で、基本的な条件を設定可能にしました。画面下のTriggerタブを開き、あらかじめ用意されているトリガ条件 (Bus Value、Channel Value、Glitch、Setup & Hold、Edge など) から希望の条件をドラッグして、トリガの対象となる波形上にドロップするだけでトリガ条件を設定できます。



ロジック・アナライザ・モジュール一覧表

性能	TLA7BB2型	TLA7BB3型	TLA7BB4型	TLA7AC2型	TLA7AC3型	TLA7AC4型
チャンネル数@モジュール	68	102	136	68	102	136
マージ可能モジュール	すべて			102、136チャンネルのみ		
チャンネル数@マージ・モジュール	680					
iCapture (アナログMUX)	標準：最大136：4 (3GHz BW)			標準4ch固定。オプション：最大136：4 (2GHz BW)		
MagniVu高速タイミング	50GS/s@128Kb			8GS/s@16Kb		
最小検出パルス幅	200ps			500ps		
ディープ・タイミング	6.4GS/s (1/4ch @ 4x depth) 3.2GS/s (1/2ch @ 2x depth) 1.6GS/s (Full ch @ 1x depth)			2GS/s (1/4ch @ 4x depth) 1GS/s (1/2ch @ 2x depth) 500MS/s (Full ch @ 1x depth)		
オプション・ステート・レート (データ/クロック)	2.8Gbs/1.4GHz (2ポイント/クロック@1/2ch、2x depth) 1.4Gbs/1.4GHz (1サンプル/クロック@Full ch、1x depth)			1.25Gbs/625MHz (1/4ch @ 4x depth) 900Mbs/450MHz (1/2ch @ 2x depth, DDR) 800Mbs/800MHz (1/2ch @ 2x depth) 450Mbs/450MHz (Full ch @ 1x depth)		
標準ステート・レート (データ/クロック)	3Gbps/750MHz(4サンプル/クロック@1/2ch、2x depth) 1.5Gbs/750MHz (2サンプル/クロック@Full ch、1x depth) 750Mbs/750MHz (1サンプル/クロック@Full ch、1x depth)			900Mbs/450MHz (1/4ch @ 4x depth) 470Mbs/235MHz (1/2ch @ 2x depth, DDR) 450Mbs/450MHz (1/2ch @ 2x depth) 235Mbs/235MHz (Full ch @ 1x depth)		
セットアップ/ ホールド時間ウィンドウ	180ps (代表値) 220ps (仕様)			625ps (代表値) 750ps (仕様)		
タイムスタンプ分解能	20ps、54ビット (4.17日)			125ps、51ビット (3.25日)		
レコード長	標準：2Mb オプション (TLA7BBx型)：4Mb/8Mb/16Mb/32Mb/64Mb			標準：2Mb オプション：8Mb/32Mb/128Mb		
トリガ・リソース	16ステート / 24トリガ・イベント 24ワード or 8レンジ 24トランジション 1スナップショット 2カウンタ/タイマ、Onsレイテンシ 4信号/フラグ 200psグリッチ 40psセットアップ/ホールド時間			16ステート / 16トリガ・イベント 16ワード or 4ワード/レンジ 16トランジション 1スナップショット 2カウンタ/タイマ、2nsレイテンシ 4信号/フラグ 500psグリッチ 250psセットアップ/ホールド時間		
トリガ実行レート	1.25ns (800MHz)			2ns (500MHz)		



デジタル・デバッグ革命：任意のチャンネルのアナ

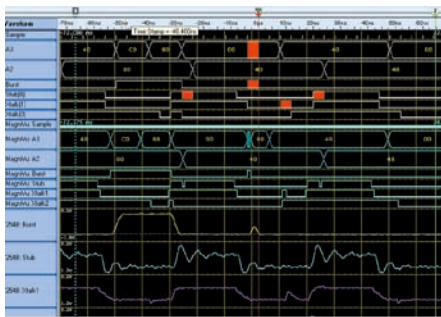
iLink®ツール・セット

iLinkツール・セットは以下の3機能を含みます。

- iView：ロジック・アナライザ管面上に、オシロスコープのアナログ信号を時間相関表示可能に！
- iCapture：ワンプロービングでデジタル、アナログ信号の同時取込みを可能に！
- iVerify：オシロスコープのアイ・ダイアグラム・データを利用し、一度に複数チャンネル（最高408チャンネル）のアナログ検証を可能に！

iViewによりアナログ・デジタル信号を時間相関同時表示

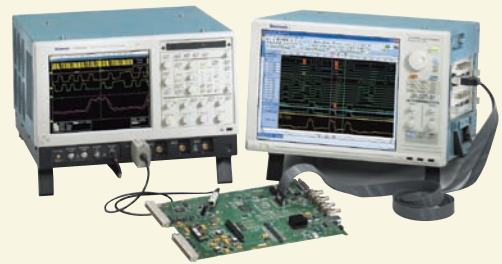
iView機能により、DPO/DSA/TDSシリーズ・オシロスコープで取込んだアナログ波形を、内蔵オシロスコープのようにTLAシリーズのデータ・ウィンドウ内に転送して、ロジック・アナライザ・データと時間相関を取って表示できます。最高性能から普及クラスまでの様々なオシロスコープと組合せられ、シグナル・インテグリティはもちろんのこと、ミクスト・シグナル解析など、デジタル・データとアナログ信号を関連付けての解析に威力を発揮します。



iViewによる外部オシロスコープ波形の同時表示例

iViewがサポートするオシロスコープ

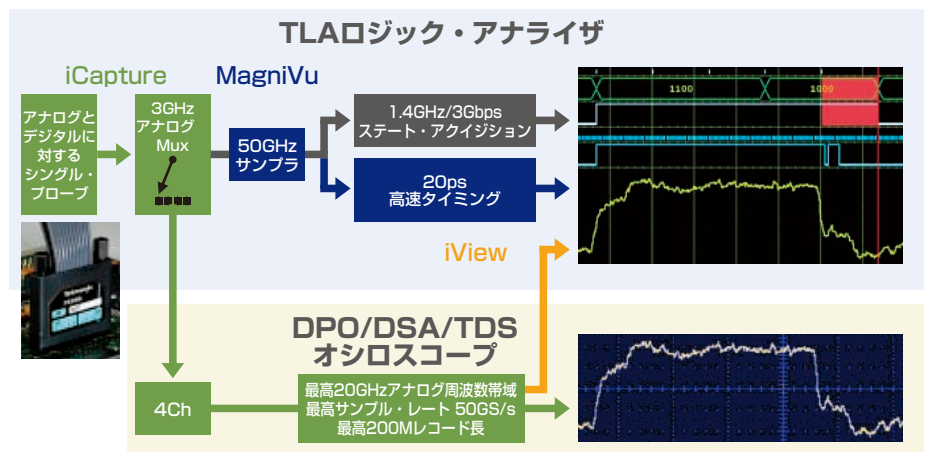
- MSO/DSA/DPO70000シリーズ
- TDS6000シリーズ
- DPO7000シリーズ
- CSA/TDS7000シリーズ
- MSO/DPO5000シリーズ
- TDS5000シリーズ
- MSO/DPO4000シリーズ
- MSO/DPO3000シリーズ
- TDS3000シリーズ
- MSO/DPO2000シリーズ
- TDS1000/2000シリーズ
- TDS700Dシリーズ
- TDS600Cシリーズ



*オシロスコープとの接続には、オプションのiViewケーブルが必要です。
また、オシロスコープ本体によっては別途コミュニケーション・インタフェースが必要になります。

iCaptureにより1本のプローブでロジック・アナライザとオシロスコープに信号取込み

1本のプローブだけでロジック・アナライザとオシロスコープからデジタル、アナログ信号を同時に取込むことが可能です。TLA7Bxx/ACx型用に用意されたTLA7Bxx/ACx型用に用意されたプローブは、最小0.5pFの低入力容量を実現しており、さらにDUTに負荷を与えるダブル・プロービングをすることなくオシロスコープに信号を導けるので、より信頼性の高いシグナル・インテグリティ評価ができます。

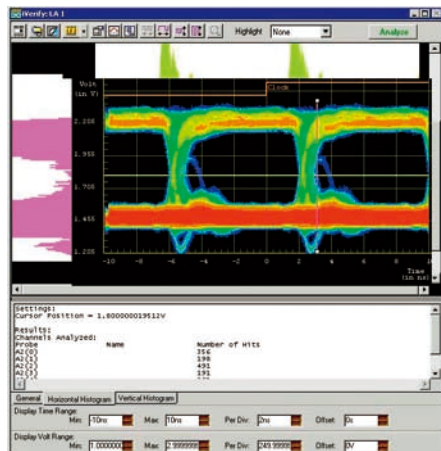


iCapture概念図

ログ信号が観測できるロジック・アナライザ

iVerifyにより一度に複数チャンネル (最高408チャンネル) のアナログ検証を可能に!

iViewとiCapture (アナログMux機能) を利用し、DPO/DSA70000シリーズなどの高性能オシロスコープから複数チャンネルのアイ・ダイアグラム・データをロジック・アナライザに転送し、高速バスのアナログ特性を一度に検証することを可能にします。ヒストグラム、アイ・リミット、マスク・テストなどを測定できます。



iVerify表示例



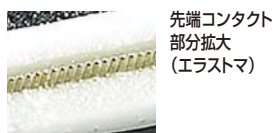
P6810型汎用プローブ



P6860型基板接続例



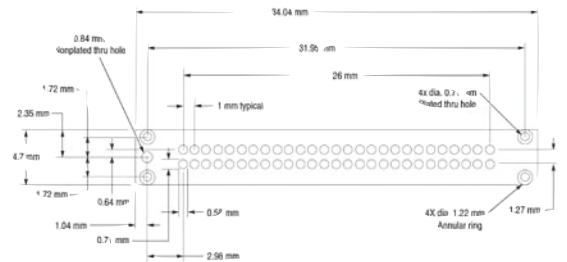
P68xx型高実装密度プローブ先端部分



先端コンタクト部分拡大 (エラストマ)

D-Max™プロービング・テクノロジーで最大限の高密度化を実現!

多数の信号を一度に接続するためには高実装密度プローブが実現されています。ここではより高い実装密度とDUTへの信号の反射による影響を抑えるためにスタブ (分岐配線) を最小化することが重要です。P69xxシリーズ・プローブはcLGAをベースにしたD-Max™プロービング・テクノロジーにより最大限の高実装密度化と0.5pF (代表値) 低容量を実現。D-MAXフットプリントは事実上の業界標準となっています。



P6960型・P6980型ランド・パターン寸法



P69xx型高実装密度プローブ先端部分



先端コンタクト部分拡大



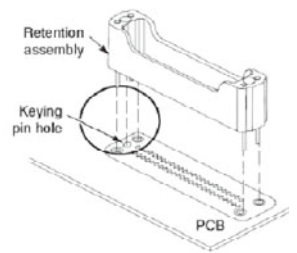
先端コンタクト構造断面 (cLGA)



P6960型基板接続例



P6960型フライング・リードセット装着例 (Opt. 01)



付属リテンション・アクセサリ

プローブ一覧表

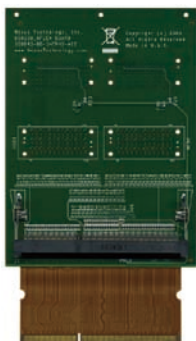
形状	型番	入力チャンネル数		入力RC	ヘッド数	モジュール側コネクタ数	備考	
		データ	クロック/ クオリファイア					
汎用 (2.54/2mm角型ピン)	P6810型	32ch差動			34ポッドレット	1	-	
	高実装密度プローブ (エラストマ圧着)	P6860型	32ch		20kΩ, 0.7pF	2	1	-
		P6864型	シングルエンド			2	4	4×Demux用途に最適
高実装密度プローブ (D-MAXテクノロジー)	P6880型	32ch差動			4	1	-	
	P6960型	32ch シングル エンド	2ch差動	20kΩ, 0.5pF	1	1	フライングリードセット (Opt. 01)	
				10kΩ, 1pF	1	2	2×Demux用途に最適	
	P6962型				1	4	2×Demux, ダブル・ プロービング用途に最適	
	P6964型				1	4	4×Demux用途に最適	
	P6980型	32ch差動			20kΩ, 0.5pF	2	1	-
P6982型	16ch差動	1ch差動			1	1	2×Demux用途に最適	



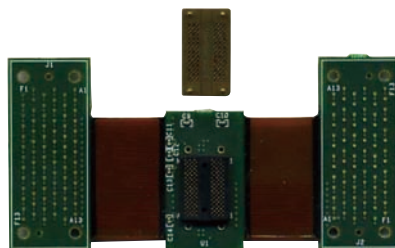
充実した各種アプリケ

DDR/2/3-SDRAM、LPDDR

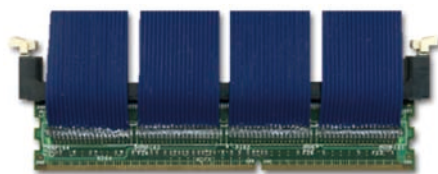
DIMMやSO-DIMM、直付けのDDR2/3-SDRAM、LPDDRに対して、当社パートナーがサポート・パッケージを各種提供。信号間のタイミングのみならず、モード・レジスタと拡張モード・レジスタへの書き込み内容のデコード、コマンドおよび書き込み/読み出しバーストを識別表示できます。さらにプロトコル・チェック・ソフトウェアでは、TLA7000シリーズで取込まれた何百万というDDR2/3トランザクションからプロトコル違反およびその発生頻度、発生位置を表示します。



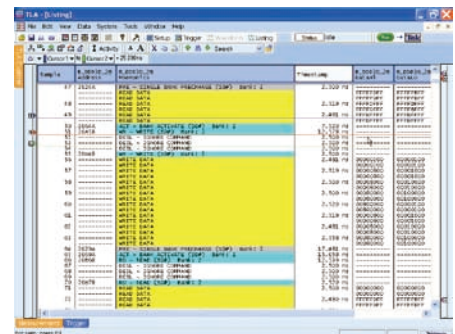
SODIMM用インターポーザ



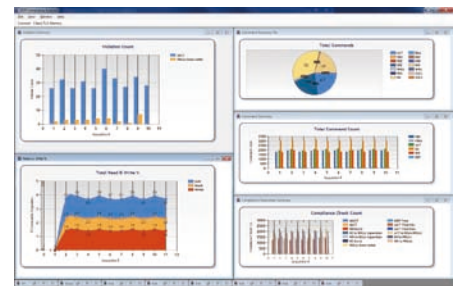
DDR2/3用BGAチップ・インターポーザ



DIMM用インターポーザ



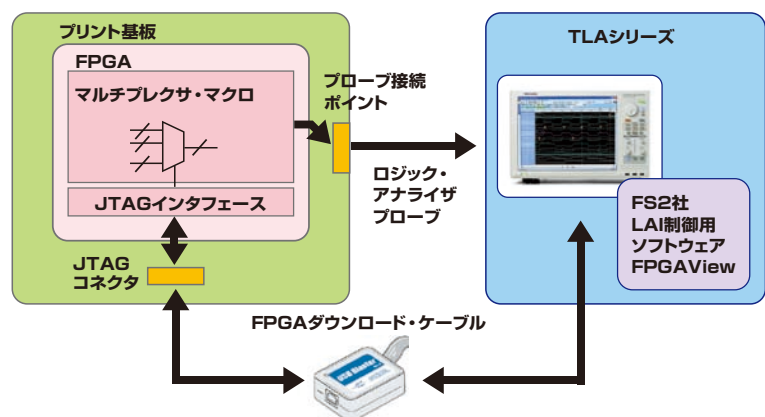
バス・サイクル (コマンド、データ) の識別表示例



DDR3コンプライアンス・パッケージ

FPGA

FPGAViewをTLA7000シリーズと組み合わせることで、Altera社やXilinx社のFPGAの内部ノードのデバッグが簡単に行えます。マルチプレクサ・マクロ (LAI) をFPGAに埋め込むことで、再コンパイルすることなく、信号観測用のピン数を抑えてバンクごとに切り替えて観測が可能。特にシミュレーションが困難な画像や通信などのシステムでのFPGA上でデバッグに最適です。

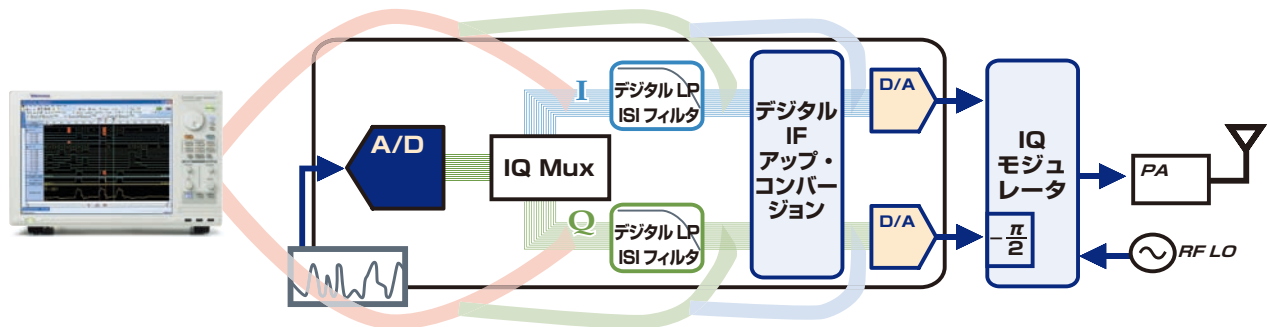
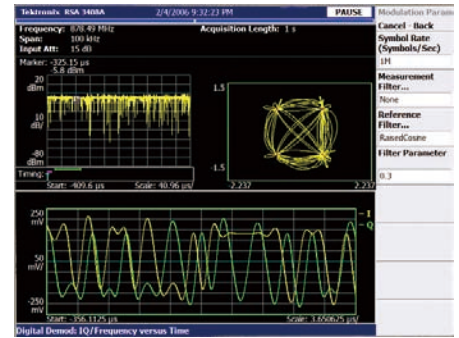


FPGAViewによるFPGA内部回路デバッグ全体図

ーション・サポート

デジタル変調解析

当社リアルタイム・スペクトラム・アナライザ用のRSAVuオフライン・ソフトウェアを組み合わせることで、TLA7000シリーズで取込んだデジタル変調データの解析が可能となります。時間、周波数、I/Q時間測定解析およびAM、FM、PM 変調信号のアナログ復調（標準）と各種ワイヤレス規格に対応したデジタル復調（オプション）が可能です。

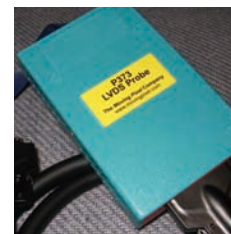


パターン・ジェネレータ／モジュール： ファンクション・テスト、設計検証などに威力を発揮

米国Moving Pixel社のPG3AをTLA7000シリーズに組合せることにより、PCB、ASIC、FPGAなどのファンクション・テストや設計検証、バス・シミュレーション、組込システムの擬似的なイベントの入力、未完成部分の機能ブロックの代替などに威力を発揮します。ハードウェア・シーケンサにより、ブロック単位でのパターン生成および外部イベントによるフロー・コントロールが可能です。TLAデータ・エクスチェンジ・フォーマット（タブ区切りのテキスト形式）によるインポート／エクスポート機能を備え、TLA7000シリーズをはじめ当社ロジック・アナライザで取込んだデータ・パターン、および米国SynaptiCAD社^{※2}のVeriLogger Pro、WaveFormer Pro、TestBench Proなどの併用により、Verilog、VHDLなどで記述・生成されたベクタ・パターンを利用できます。また、変更したパターンをSynaptiCAD社ツールにインポートし、逆変換することも可能です。PG3Aの操作環境は、Windows XP環境で動作するスタンド・アロンのソフトウェアで、TLA7000シリーズ本体上、あるいはPC上で動作し、PG3AとUSB経由で接続します。



PG3AMOD (上) とPG3ACAB (下)



プローブ例 (P373型)

基本仕様	PG3AMOD型	PG3ACAB	PG3L型
TLA7000本体での動作	○	× (外部キャビネット型)	
チャンネル数	64	64	32
最高クロック周波数		300MHz	
最高動作データ・レート	300Mbps (DDRオプション時600Mbps)		
パターン長	32Mベクタ		
最大ブロック数/最大シーケンス数	3965		

プローブ・ボッド	P370型	P370LV型	P370LV2型	P373型
出力レベル	TTL	CMOS (3.6V)	CMOS (2.5V)	LVDS
CH数	データ: 16、クロック: 1、ストロブ: 1			
最大周波数	150MHz	200MHz		300MHz

プローブ・ボッド	P375型	P311型	P332型
出力レベル	ユニバーサル	DACプローブ	MIPI D-Phy
CH数	データ:16、クロック:1、ストロブ:1	1CH	データ:4、クロック:1
最大周波数	300MHz	300MS/s	1.5Gbps



MIPI

テクトロニクスは、MIPIアライアンスのContributorメンバーとしてMIPIアライアンスに参画しています。米国Moving Pixel Companyの協力により、MIPI規格のディスプレイ・モジュールやレシーバの評価用にMIPI D-PHY、MIPI M-PHY信号発生器を提供しており、特に高解像度ディスプレイにも対応できる最大4レーン出力をサポートしています。また、カメラなどのトランスミッタやコントローラを含むシステム評価用には、プロトコル解析および物理層の規格適合試験に対応したソリューションを用意しています。

■ D-Phy M-Phy用信号発生器

D-Phy

- 1.5Gbps、4レーンに対応 (PG3A型+P332型)
- ビット・マップ画像ファイルからPixel Streamへ自動変換
- ビデオ出力時のコマンド挿入をリアルタイムに実行可能
- 各レーン毎の出力振幅、スキューをリアルタイムに調整
- データとクロック間のジッタ付加/耐性試験 (外部Clk使用)

M-Phy

- 最大4レーン、6Gbpsに対応 (PG3A型+専用プローブ)
- LS Type-1、Type-2、HS Gear-1、Gear-2、Gear-3 をサポート

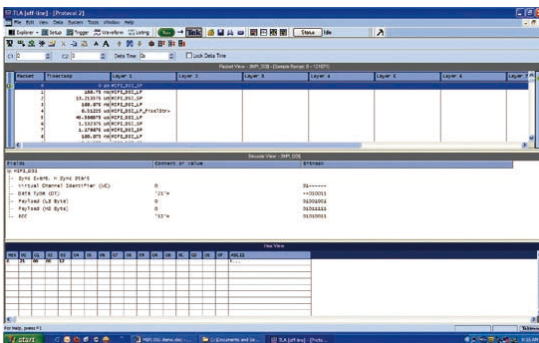
■ DSI、CSI2のプロトコル解析

- 最大4レーン同時、1.5Gbps/レーンの取込み
- デコードしたPixel Streamをビット・マップ画像ファイルとして自動保存
- パケット・レベル・トリガとリアルタイム・フィルタ
- Pixel/Byteレイヤのペイロード・データのデコード (RGB)
- LP/HS同時取り込みとパケット表示/コマンドのデコード

* M-Phyのプロトコル解析はオシロスコープで対応可能



ロジック・アナライザ用DPhyプリプロセッサ



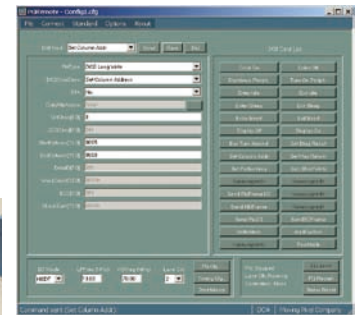
プロトコル・デコード画面例



PG3A型パターン・ジェネレータ



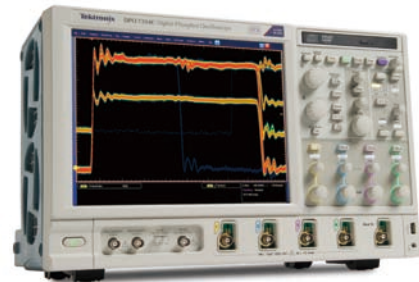
D-Phy用出力プローブ



MIPI信号作成ソフトウェア

■ D-Phy、M-Phyの物理層測定

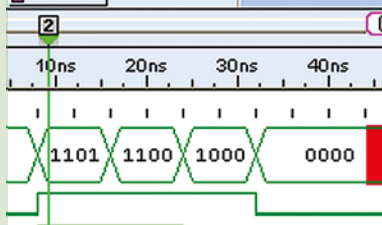
- DSA/DPOオシロスコープで自動測定をサポート
- 規格適合性の全自動テストと詳細解析を実現
- ワースト値の波形の自動検索機能
- Pass/Failの一覧表、マージン、波形画像を含む結果レポートを自動生成



DPO7000Cシリーズ



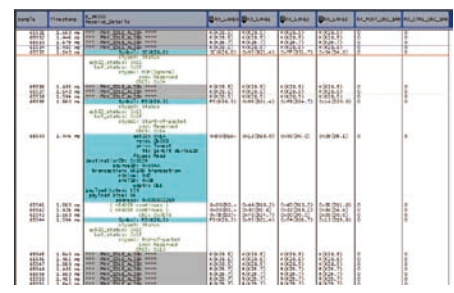
D-Phy物理層測定/解析ソフトウェア



シリアル・インタフェース

TLA7SA08/16型シリアル・アナライザ・モジュール (PCI Express Rev.1.x/2.0/3.0)、あるいは当社パートナーが提供するさまざまなシリアル・バス用に用意されたプリプロセッサではシリアル・データの平行化に加え、さまざまなエラー信号、ステータスを同時に発生し、トリガの手助けとなります。複数のパラレル・バスおよびシリアル・バス間で時間相関をとって解析できます。

- 8b/10bコーディング、ディスパリティ、フレーミング、CRCなどのエラー検出／トリガ
- PCI Express (Rev.1.x/2.0)、SATA2、USB 1.1/2.0、シリアルRapid IOなどをサポート



NEX-SRIO2型ステート表示例

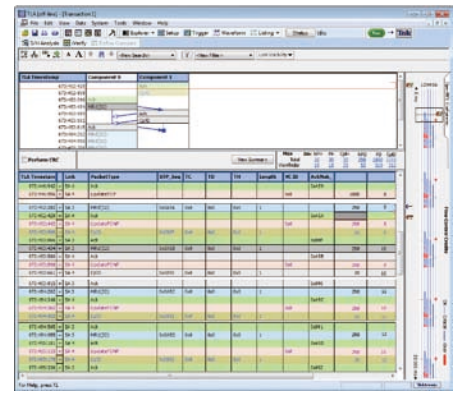


SATA-6GシリアルATAバス・アナライザ (Crescent Heart Software社製)






NEX-SRIO2型シリアルRapidIO プロトコル・アナライザ (Nexus Technology社製)

- TLA7SA08/16シリアル・アナライザ・モジュール (PCI Express)
 - PCI Express 1.x,2.0,3.0に対応
 - 豊富なプロービング・ソリューション (Midbus、スロット・インタポーザ、ソルダダウン・プローブなど)
 - プロトコルのすべてのレイヤをサポートする強力なトリガ機能
 - 物理レイヤからトランザクション・レイヤまでの検証
 - マルチ・バス同時検証によりシステムレベルのデバッグが可能

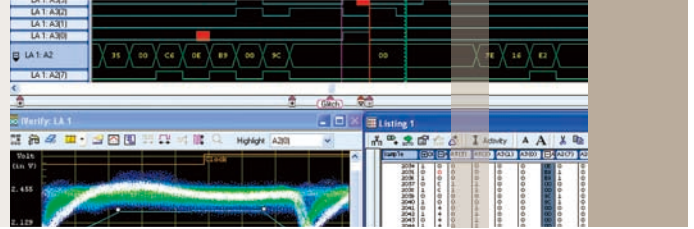
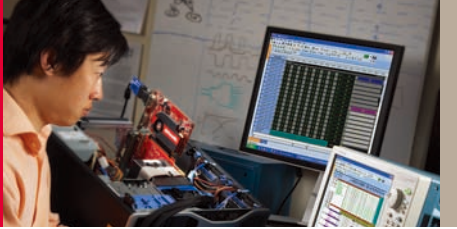


トランザクション表示例

型名	TLA7SA08型	TLASA16型
データ・レート	2.5GT/s、5GT/s、8GT/s	
最大レーン数	x4	x8 x16 (2モジュール/時)
ASPMサポート	4FTS以内 (PCI Express Rev3.0) 12FTS以内 (PCI Express Rev2.0)	
メモリ長	8GB/モジュール	

型名	P67xx	P67SAxx	P67xxS	P67SAxxS	P6701SD
プローブ・タイプ	Midbusプローブ		スロット・インタポーザ		ソルダダウン・プローブ
	エラストマまたはcLGA圧接触		PCIExpressスロット		半田付け
接続方法					
接続モジュール	TLA7S08/16	TLA7SA08/16	TLA7S08/16	TLA7SA08/16	TLA7S08/16、 TLA7SA08/16
対応データ・レート	2.5GT/s、5GT/s	2.5GT/s、5GT/s、8GT/s	2.5GT/s、5GT/s	2.5GT/s、5GT/s、8GT/s	





ご購入の際は以下の製品型名をご使用ください

ロジック・アナライザ本体

型名/オプション	品名
TLA7012型	ポータブル・ロジック・アナライザ本体
オプション1C	iViewケーブル (GPIB-USB)
オプション2C	iViewケーブル (USB-USB)
オプション18	タッチ・スクリーン
オプション88	同梱出荷
オプションPO	アクセサリ・ポーチ
オプションTL	Tek Linkケーブル

型名/オプション	品名
TLA7016型	ベンチトップ・ロジック・アナライザ本体
オプション1C	iViewケーブル (GPIB-USB)
オプション2C	iViewケーブル (USB-USB)
オプション88	同梱出荷
オプションTL	Tek Linkケーブル

ロジック・アナライザ・モジュール

型名/オプション	品名
TLA7AC2型	8GHzMagniVu, 235MHzステート, 2Mメモリ, 68CH LAモジュール
TLA7AC3型	8GHzMagniVu, 235MHzステート, 2Mメモリ, 102CH LAモジュール
TLA7AC4型	8GHzMagniVu, 235MHzステート, 2Mメモリ, 136CH LAモジュール
オプション1S	235MHzステート, 8Mメモリ
オプション2S	235MHzステート, 32Mメモリ
オプション3S	235MHzステート, 128Mメモリ
オプション4S	450MHzステート, 2Mメモリ
オプション5S	450MHzステート, 8Mメモリ
オプション6S	450MHzステート, 32Mメモリ
オプション7S	450MHzステート, 128Mメモリ
オプションAM	フル・アナログMUX機能
オプション88	同梱出荷

型名/オプション	品名
TLA7BB2型	50GHzMagniVu, 750MHzステート, 2Mメモリ, 68CH LAモジュール
TLA7BB3型	50GHzMagniVu, 750MHzステート, 2Mメモリ, 102CH LAモジュール
TLA7BB4型	50GHzMagniVu, 750MHzステート, 2Mメモリ, 136CH LAモジュール
オプション1S	750MHzステート, 4Mメモリ
オプション2S	750MHzステート, 8Mメモリ
オプション3S	750MHzステート, 16Mメモリ
オプション4S	750MHzステート, 32Mメモリ
オプション5S	750MHzステート, 64Mメモリ
オプション6S	1.4GHzステート, 2Mメモリ
オプション7S	1.4GHzステート, 4Mメモリ
オプション8S	1.4GHzステート, 8Mメモリ
オプション9S	1.4GHzステート, 16Mメモリ
オプションAS	1.4GHzステート, 32Mメモリ
オプションBS	1.4GHzステート, 64Mメモリ
オプション88	同梱出荷

シリアル・アナライザ・モジュール

型名/オプション	品名
TLA7SA08型	8ch, 8GT/s, TLAシリアル・アナライザ・モジュール
TLA7SA16型	16ch, 8GT/s, TLAシリアル・アナライザ・モジュール

シリアル・アナライザ・モジュール用ソフトウェア:
TMS160PCIe3 TLA7SAxxモジュール用PCIe 1.x/2.0/3.0 プロトコル・ソフトウェア

共通サービス・オプション

サービス・オプション	品名
オプションC3	3年標準校正 (納品後2回実行)
オプションC5	5年標準校正 (納品後4回実行)
オプションD1	英文試験成績書
オプションD3	3年英文試験成績書 (オプションC3必須)
オプションD5	5年英文試験成績書 (オプションC5必須)
オプションR3	保証期間延長 (3年間)
オプションR5	保証期間延長 (5年間)
オプションG3	3年ゴールド・サービス・プラン
オプションG5	5年ゴールド・サービス・プラン



〒108-6106 東京都港区港南2-15-2 品川インターシティ B棟6階
ヨッ!良い オシロ
 テクトロニクス お客様コールセンター TEL:0120-441-046
 電話受付時間/9:00~12:00・13:00~19:00(土・日・祝・弊社休業日を除く)

www.tektronix.com/ja

- 記載内容は予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 記載価格は2011年10月現在 (税抜)。

© Tektronix 2011年10月 54Z-23216-1

* TEKTRONIXおよびTEKはTektronix, Inc.の登録商標です。記載された商品名はすべて各社の商標あるいは登録商標です。